

# 株式会社フィックスターズ

## 2019年9月期 通期決算補足説明資料

2019/11/12

本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。

当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

**1**

# 2019年9月期 通期決算説明

## ・ 売上高、利益ともに安定成長

- ・ 売上高： 6,966百万円（前期比 +32.1%、対予算比 +1.3%）
- ・ 営業利益： 1,316百万円（前期比 +19.6%、対予算比 +7.3%）

## ・ ソフトウェア・サービス事業がプロジェクト規模拡大により安定成長

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発、及び自動運転関連のソフトウェア開発・高速化サービスを中心に安定成長

## ・ ハードウェア基盤事業が大型スポット案件により増収に大きく寄与

- ・ 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが安定貢献
- ・ 画像処理向けストレージ・サーバの大型スポット案件が、通期で約10億円の売上となり大幅増収をけん引

## 連結損益計算書

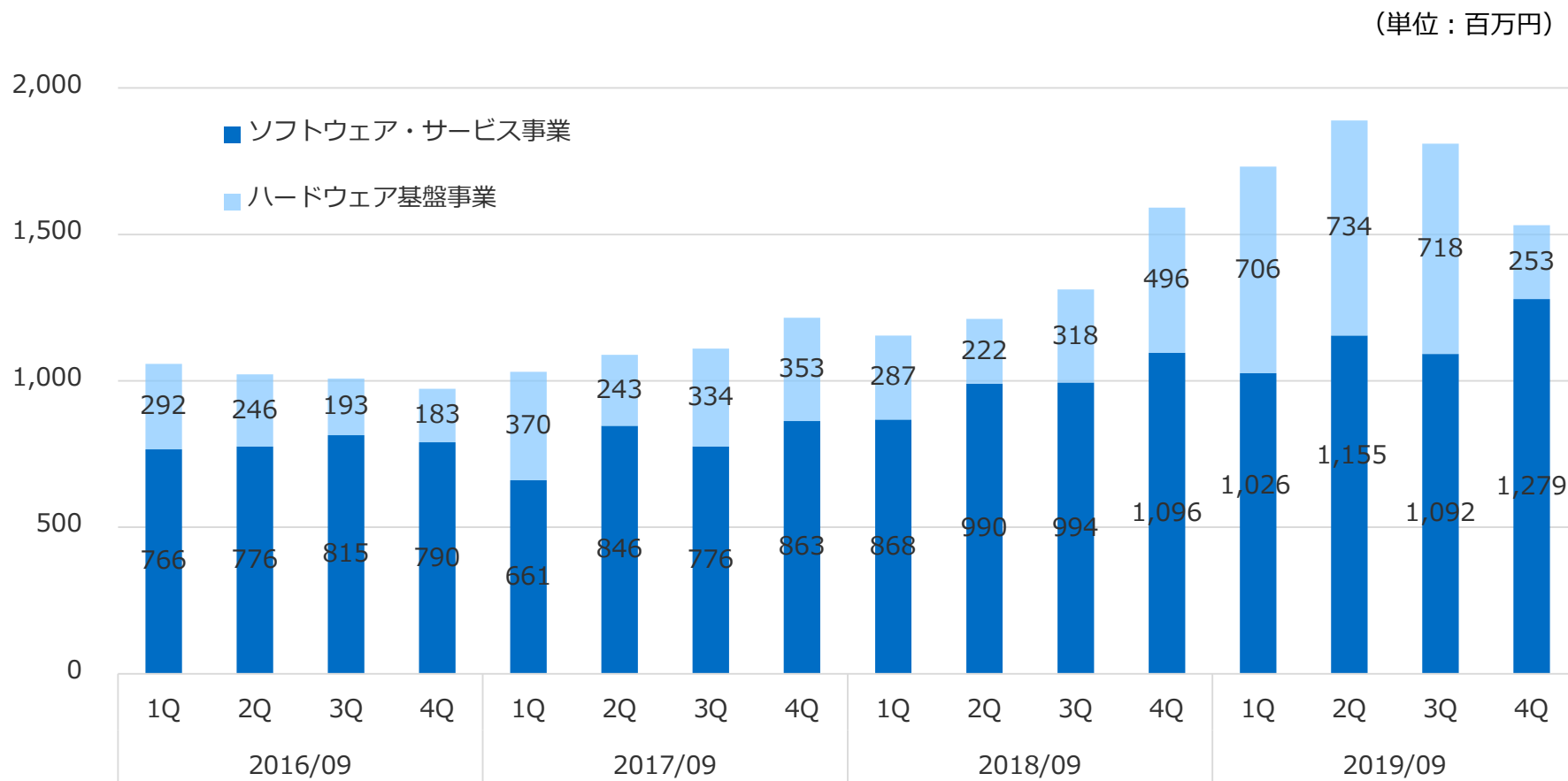
ソフトウェア開発・高速化サービスの安定成長及びハードウェアの大型スポット案件により増収増益を達成。

相対的に利益率の低いハードウェア基盤事業の売上増により利益率は悪化。

(単位：百万円)	2018年9月期	2019年9月期	
	実績	実績	前期比
売上高	5,275	6,966	+32.1%
営業利益	1,100	1,316	+19.6%
売上高営業利益率	20.9%	18.9%	▲2.0pt
親会社に帰属する当期純利益	823	870	+5.7%
売上高当期純利益率	15.6%	12.5%	▲3.1pt

## 売上高

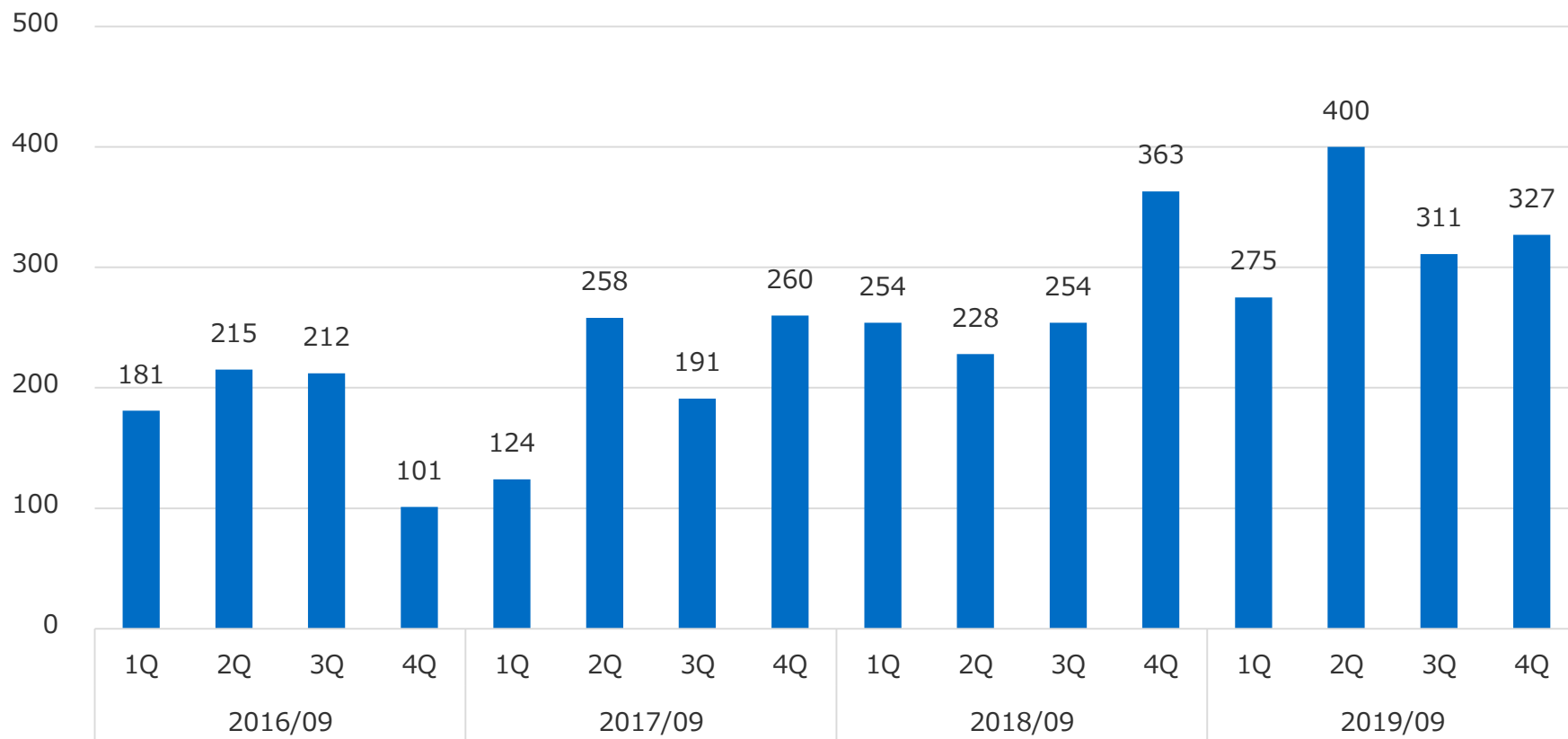
スポット案件の減収によりハードウェア基盤事業はQoQで大幅減となるも、ソフトウェア・サービス事業はプロジェクト規模拡大に伴い過去最高の四半期売上高を達成。



## 営業利益

ソフトウェア・サービス事業及びハードウェア基盤事業の増収に伴い、  
通期で増益を達成。

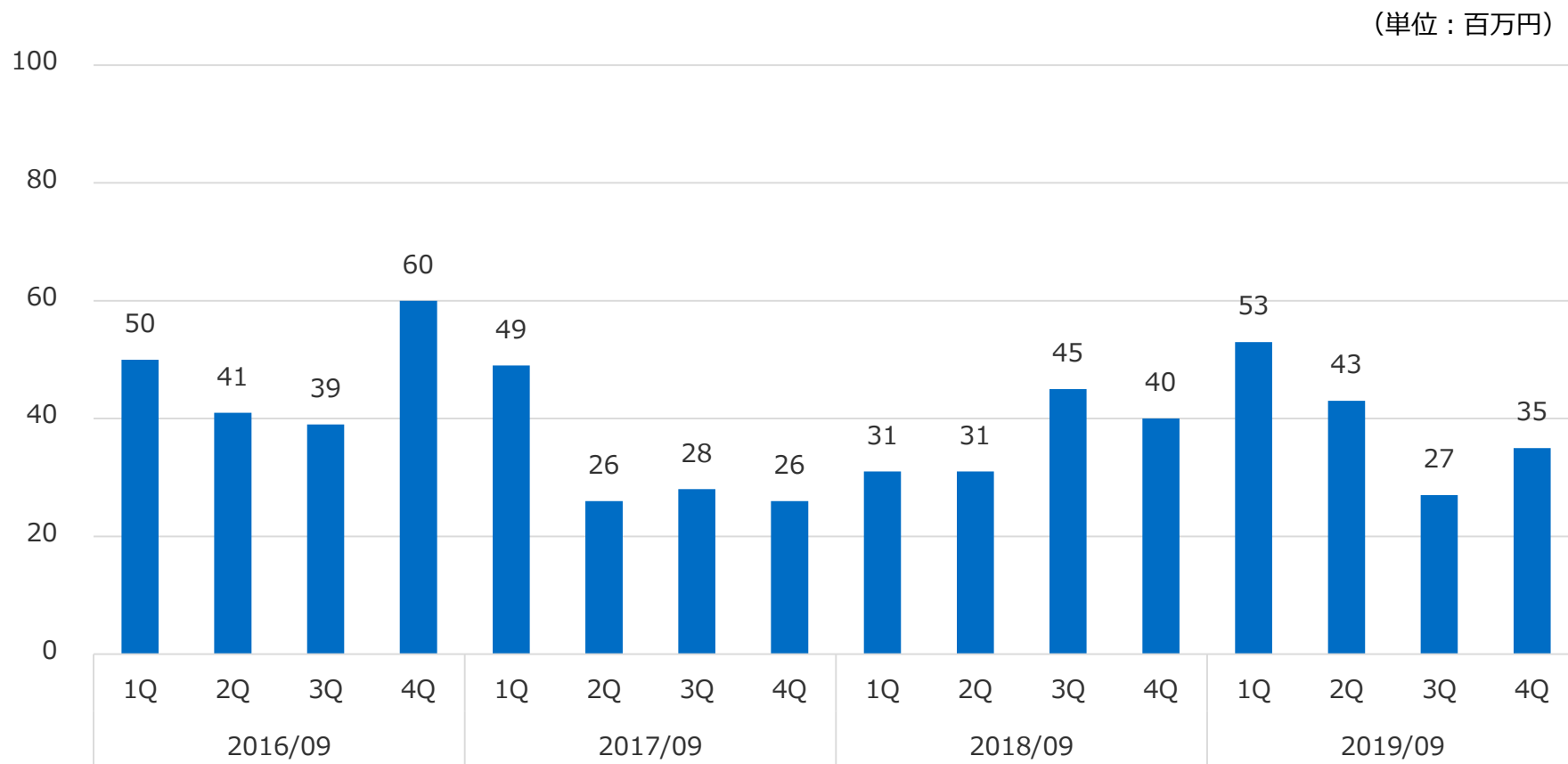
(単位：百万円)



## 研究開発費

新規SaaS事業向けの研究開発を継続。

量子コンピュータやGENESIS事業等においては、NEDO等の補助金活用により費用負担を大きく軽減。

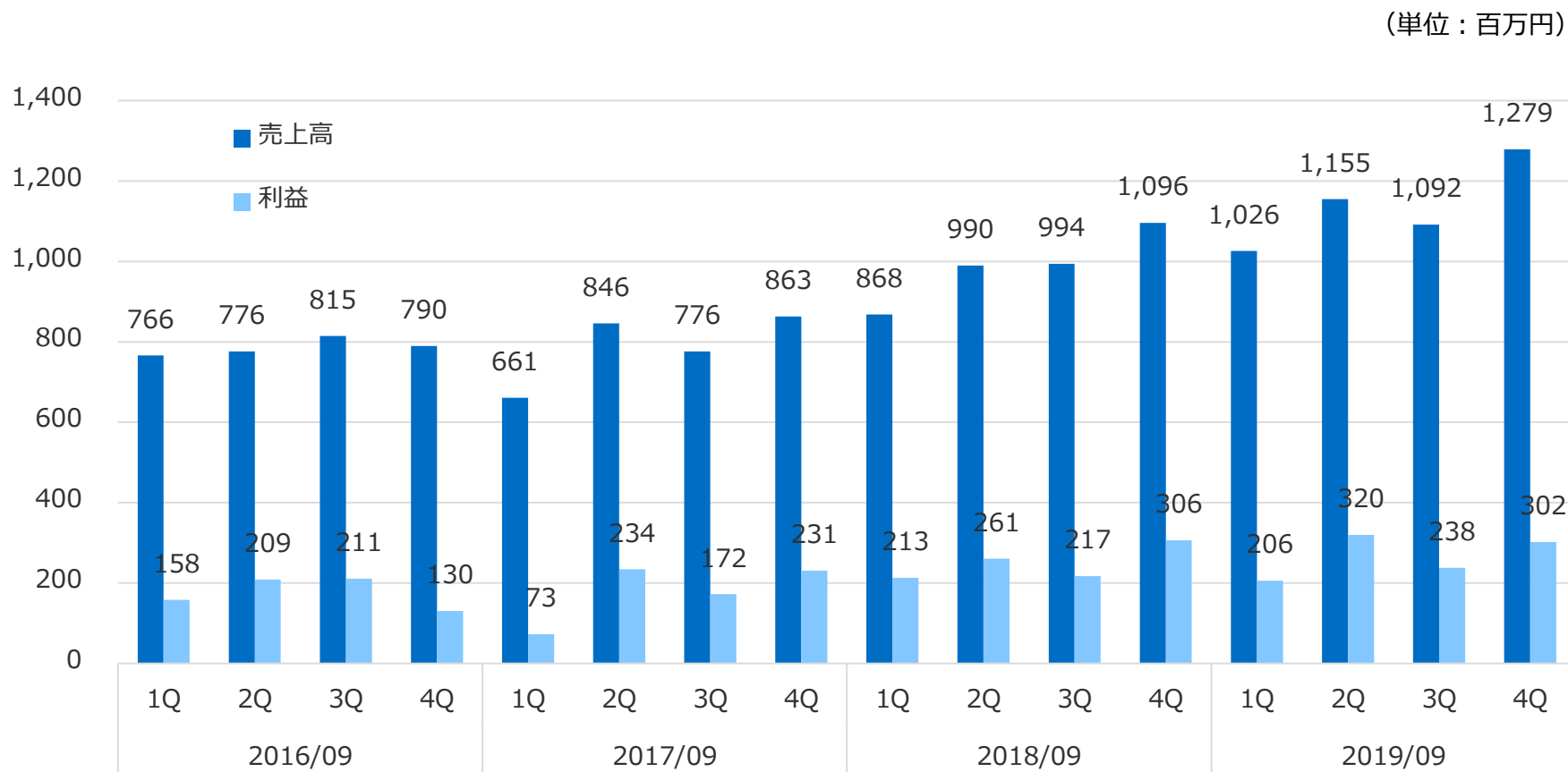




## ソフトウェア・サービス事業

プロジェクト規模拡大に伴い過去最高の四半期売上高を達成。

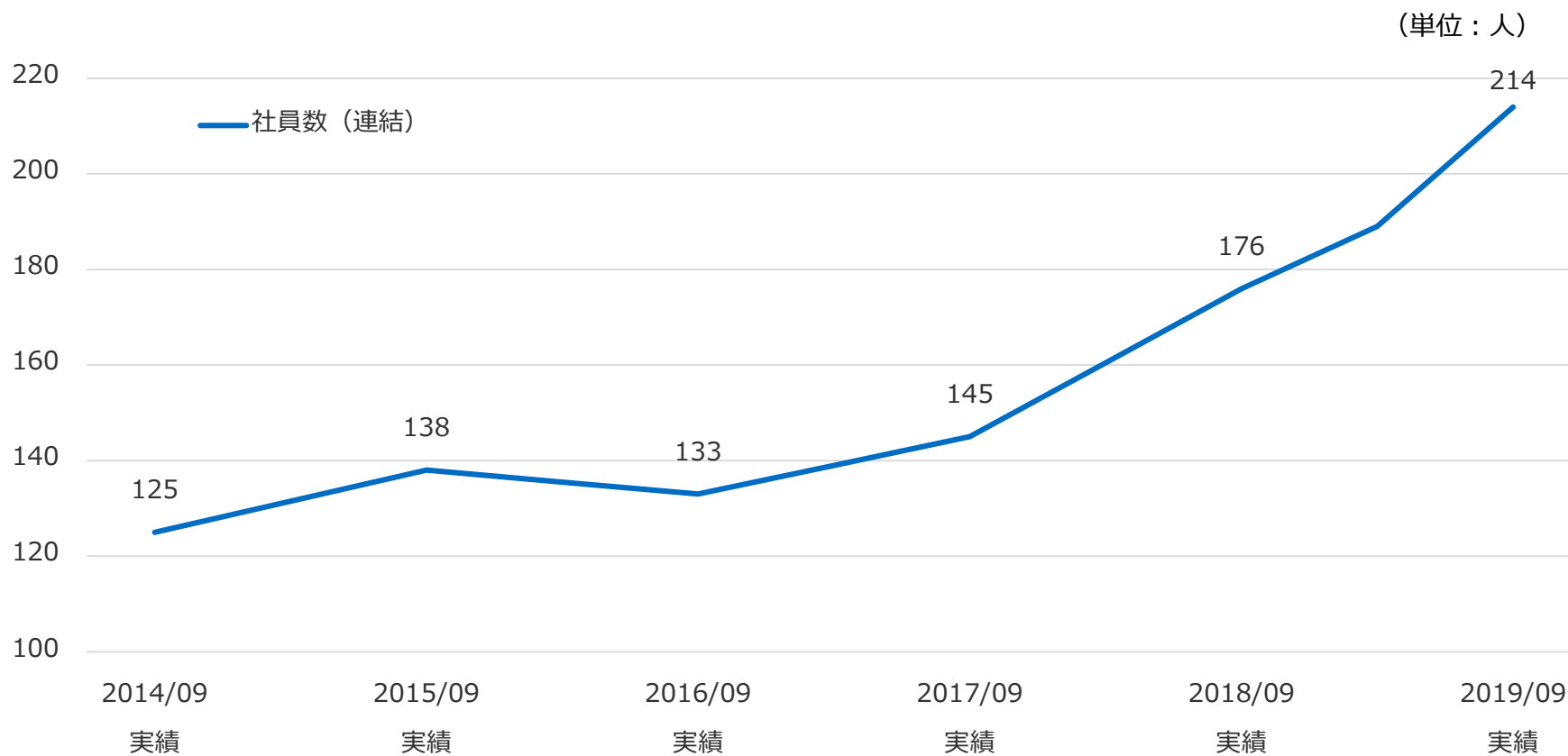
売上増に伴い増益を達成。



## 社員数推移

新卒21名を中心に下期も新規採用が順調に進み214名で着地。

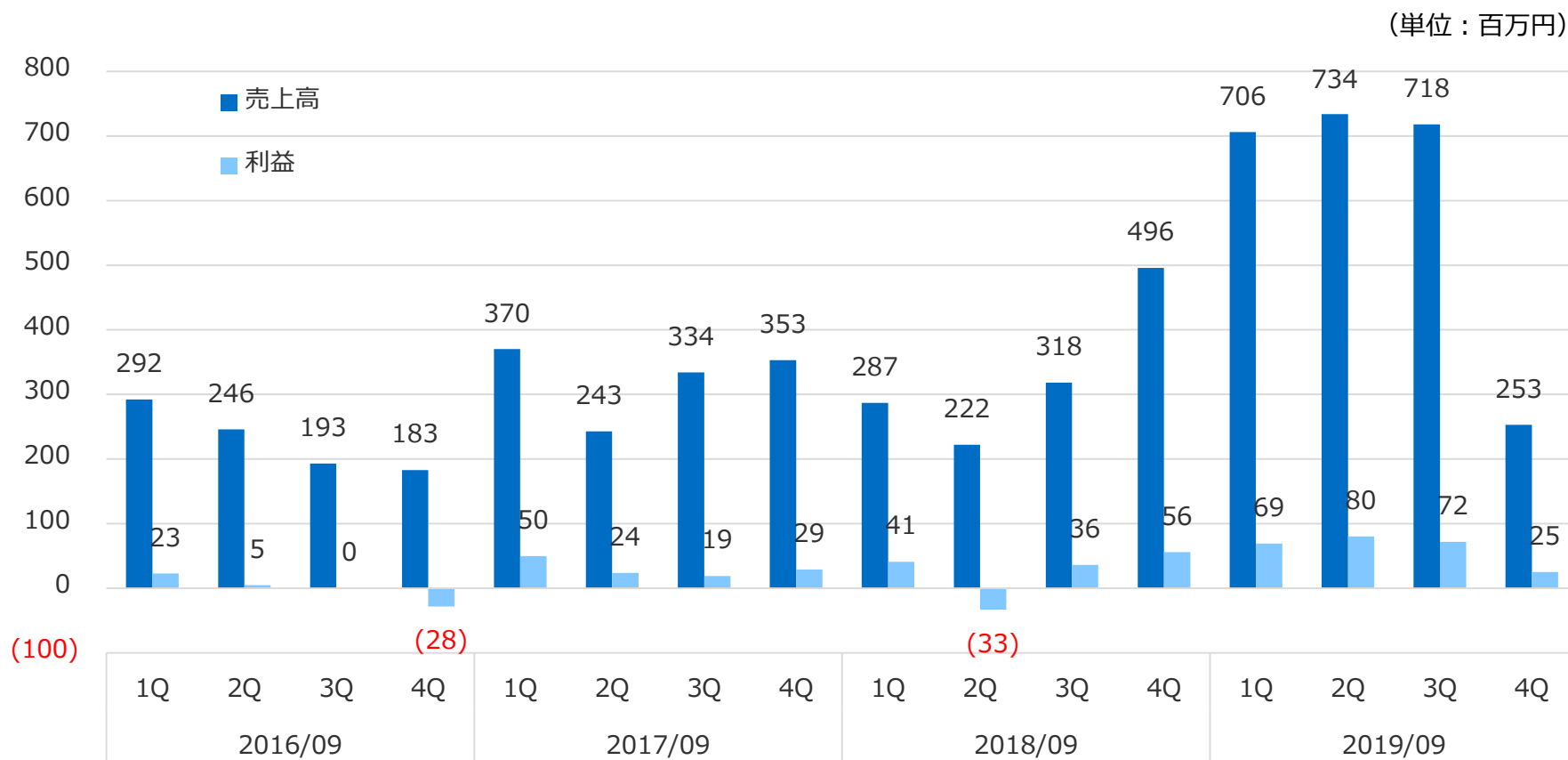
引き続き旺盛な引き合いに対応するため、中途新卒どちらも積極採用を継続。



## ハードウェア基盤事業

画像処理プロセッサ搭載演算ボードが引き続き安定貢献。

画像処理向けストレージ・サーバの大型スポット案件が、通期で約10億円の売上となり大幅増収をけん引。



2

## 2020年9月期 通期業績予想

## ・ ハードウェアの減収と新規SaaS事業向け先行投資拡大を反映し、減収減益予想

- ・ 売上高： 6,384百万円（前期比 ▲8.4%）
- ・ 営業利益： 1,059百万円（前期比 ▲19.5%）
- ・ 新規SaaS事業向け研究開発費等の先行投資約4.5億円（前期実績：約2.5億円）を確保

## ・ ソフトウェア・サービス事業がプロジェクト規模拡大により安定成長

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発、及び自動運転関連のソフトウェア開発・高速化サービスを中心に安定成長

## ・ ハードウェア基盤事業はスポット案件減により大幅減収見込み

- ・ スポット案件関連（前期売上実績：約10億円）が減収見込み
- ・ 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードのEOLが2021年3月に確定。リカーレント収益が期待できる新たな案件獲得を目指す

## 連結損益計算書

ソフトウェア開発・高速化サービスの拡大が見込まれるも、ハードウェアの大型スポット案件減により減収予想。

新規SaaS事業向け約4.5億円（前期実績：約2.5億円）を中心に販管費増が見込まれ減益予想。

費用が先行する新規事業を新会社に分離したことで、連結決算上は税負担率が増加し当期純利益率が低下。

(単位：百万円)	2019年9月期	2020年9月期	
	実績	予想	前期比
売上高	6,966	6,384	▲8.4%
営業利益	1,316	1,059	▲19.5%
売上高営業利益率	18.9%	16.6%	▲2.3pt
親会社に帰属する当期純利益	870	579	▲33.5%
売上高当期純利益率	12.5%	9.1%	▲3.4pt

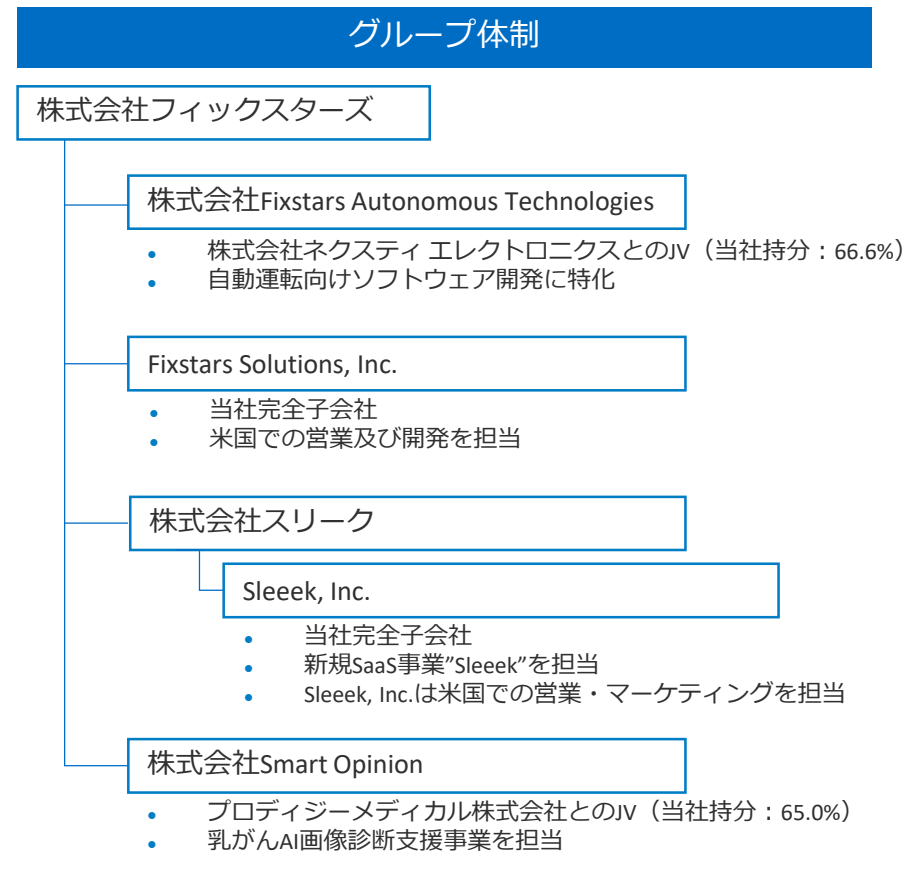


## 補足資料

## 高速化のエキスパート集団

フィックスターズは、コンピュータの性能を最大限に引き出し大量データの高速処理を実現する、高速化のエキスパート集団です。

概要	
会社名	株式会社フィックスターズ
本社所在地	東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー18階
設立	2002年8月
上場区分	東証一部（証券コード：3687）
代表取締役社長	三木 聡
資本金	5億5,296万円（2019年9月現在）
社員数（連結）	214名（2019年9月現在）
主なお客様	キオクシア株式会社 株式会社ネクスティ エレクトロニクス 株式会社日立製作所 キヤノン株式会社





## ソフトウェア開発・高速化サービス

お客様のソースコードをご提供いただき、  
ソフトウェアの最適化やアルゴリズムの改良を行い高速化したコードをお返しします。



当社

オリジナルソースコードのご提供

高速化したソースコード

お客様



コンサルティング



高速化

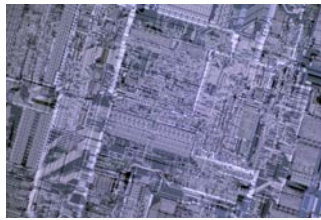


サポート

- 性能評価
- アルゴリズムの改良・開発
- レポートやコードへのQ&A
- ボトルネックの特定
- ハードウェアへの最適化
- 実製品への組込み支援
- レポート作成

## 大量データの高速処理が求められる分野

大量データの高速処理が顧客製品の競争力の源泉となる、  
様々な領域でソフトウェア開発・高速化サービスを提供しています。

**Semiconductor**

- ・ NAND型フラッシュメモリ向けファームウェア開発
- ・ 次世代AIチップ向け開発環境基盤開発

**Industrial**

- ・ Smart Factory化支援
- ・ マシンビジョンシステムの高速化

**Mobility**

- ・ 自動運転の高性能化、実用化
- ・ 次世代パーソナルモビリティの研究開発

**Life Science**

- ・ ゲノム解析の高速化
- ・ 医用画像処理の高速化
- ・ AI画像診断システムの研究開発

**Finance**

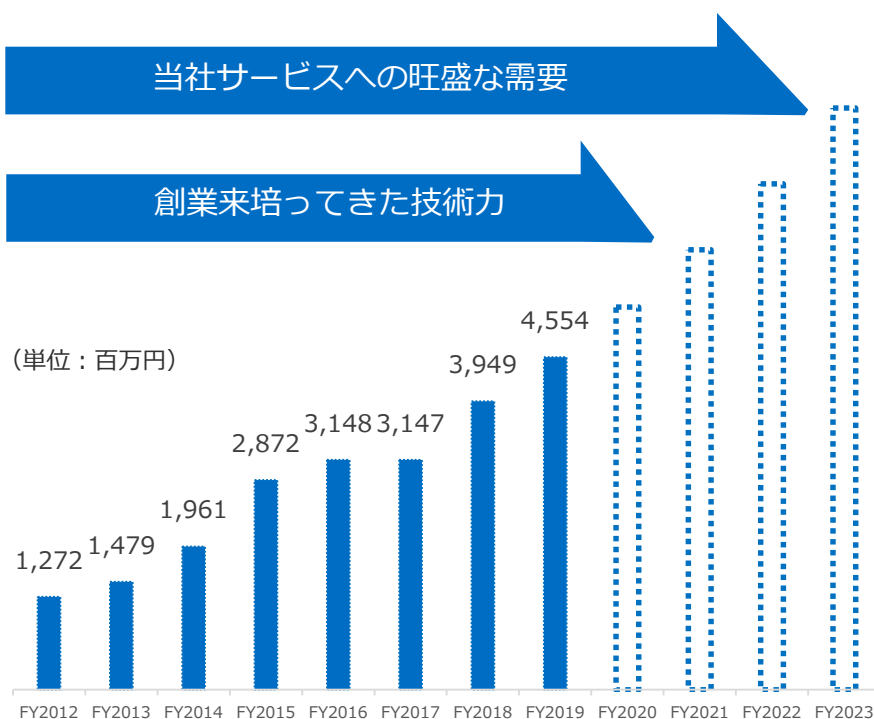
- ・ デリバティブシステムの高速化
- ・ HFT(アルゴリズムトレード)の高速化

## 既存事業の安定成長と新規SaaS事業の育成

当社サービスへの旺盛な需要を背景に、ソフトウェア開発・高速化サービスの安定成長が見込まれます。

当社事業の根幹をなすソフトウェア開発・高速化サービスに引き続き注力する一方で、更なる成長のため新規SaaS事業の育成に取り組みます。

### ソフトウェア・サービス事業の売上高推移



### 現状と今後の課題

#### 年率10%~15%の安定成長

旺盛な需要を背景にソフトウェア・サービス事業の年率10%~15%の安定成長が見込まれる一方、それ以上のペースでの拡大成長は見込み難い

#### 更なる成長の実現

創業来培ってきた技術力と外部環境を活かして、世界シェア1位の“勝者”となりうる新規事業開発にチャレンジ

## AIプロジェクトマネージャ“Sleek”

AIがまるで優秀なサブマネージャのように、  
生産性向上に必要な情報の取得・整理、解決策の提案・実施を行います。

### ソフトウェア開発における課題



コミュニケーション不足により、開発進捗やチームの状況を把握しきれない



コード品質の向上や技術的負債の解消まで手が回らない



管理業務やレポートに時間がとられ過ぎる

### Sleekの提供する機能

#### プロジェクト管理に必要な情報の自動取得、整理、解釈、そして解決策の提案

- 連携する各ツールからデータを取得し機械学習を用いて状態を定量評価
- botがメンバに声がけして、必要な情報の取得・提供、解決策の提案を実施

#### コードレビューの自動実施や技術的負債の自動把握

- プルリクエストに対して自動の静的解析
- 機械学習によるコード品質の定量的な評価
- 開発履歴等をベースとしたAIによるコードレビュー

#### 見える化によりレポートやタスク優先度付けを簡単に

- 連携する各ツールからデータを取得し、プロジェクトの状況をパネルに見える化

## 乳がんAI画像診断支援事業

乳がんを対象としたAIによる自動診断支援技術を今後事業化。

超音波画像に対しAIを用いて高速かつ高精度に腫瘍を認識することで、患者、医師、検査技師の負担軽減を目指します。

### 事業体制

フィックスターズ

ディープラーニング  
技術

慶應大学医学部等

大量の診断データ

- 日本初となる、超音波画像を学習データとする乳がんのAI診断支援システムを慶應大学医学部と共同研究
- 慶應大学医学部等の協力を得て、大量の診断データを元に学習し、高いレベルの診断精度を実現

### 提供形態

静止画解析

リアルタイム  
動画解析

### 提供価値

患者の検査負担軽減  
見落とし防止、早期発見

医師の負担軽減

検査技師の不足解消  
読影技術のサポート

▶ 超音波画像を用いたAI自動診断支援により患者、医師、検査技師の負担を軽減

## エッジビジョンAI開発プラットフォーム“GENESIS”

自動運転やFA等、様々な分野で利用拡大が見込まれるエッジビジョンAI向けの開発プラットフォームです。  
アルゴリズムの構築から各種ハードウェア向け最適化、半導体回路生成まで数クリックでシームレスに行えます。

### 事業背景と顧客の課題

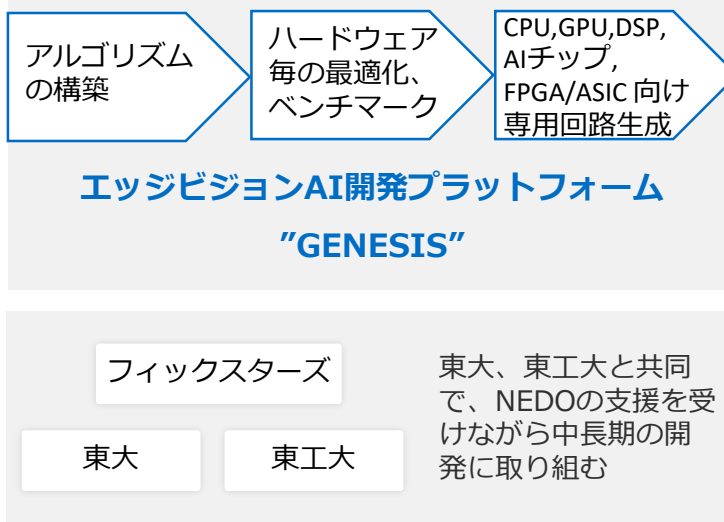
#### 手戻りによる開発工数の増大と、ソフトウェア開発の高難度化

製品の競争力を高めるため、最新アルゴリズムとハードウェアを活用して高度なエッジビジョンAIを実現したいが・・・

- 新たなアルゴリズムやハードウェアを試す度にソフトウェアを実装しなければならない
- 量産用の安価なハードウェアに乗り換えるために再度ソフトウェアを実装し直さなければならない
- システム全体を最適化するためには多くの時間と高度なノウハウが必要

### 提供機能

#### アルゴリズムの構築から最適化、半導体回路生成まで数クリックで完成



### 適用分野

#### エッジビジョンAI



ADAS・自動運転



ドローン



FA

⋮

## 量子コンピュータ事業

各種量子コンピュータを容易に、効果的に活用できるような共通ミドルウェア群と、関連コンサルティングサービスを提供します。NEDO及びSIPに参画し、中長期の研究開発に取り組みます。

## 共通ミドルウェア群のイメージ



## 当社の差別化要因

- アクセラレータ活用技術
  - 創業来ソフトウェア開発・高速化サービスで培ってきたGPUやFPGAといったアクセラレータの活用技術
- 量子力学をはじめとする各研究分野の知見
  - 次世代アクセラレータ活用に不可欠な学術的バックグラウンドに加え、活用先の候補となる各研究分野における知見
- 産官学キープレイヤーとの強い関係性
  - 国内外のデバイスメーカーから著名大学や行政機関まで、量子コンピュータにおけるキープレイヤーとの強い関係を構築

NEDO:産業技術力の強化等を目的とした経産省所管の国立研究開発法人  
SIP: 戦略的イノベーション創造プログラム。内閣府主導の府省・分野を超えた横断型プログラム

